

河田正一 市政 ニュース



2016.8.5 No.50
発行人 河田正一
岡山市北区御津高津 874
☎ 086-724-0895
http://k.okjcp.jp/

6月定例 岡山市議会

報告号

6月定例岡山市議会では、多子世帯の保育料を減免する予算などが成立しました。一方で、待機児童対策を名目に保育士資格の無い者が保育できるようにする規制緩和が、自民・公明・創政の多数で決められました。

河田正一議員は個人質問で、市政の各分野をただし、具体施策を提案しながら論戦しました。

給付制奨学金 入学祝い金

市独自の子育て支援策を

岡山市は県内で最も子育て支援が遅れているとされており、充実を求める市民の声にも消極的です。

河田正一議員は、住み続けられる岡山市にするために、市独自の制度をつくるなど、子育て支援を充実させるべきと求めました。

家庭の経済状態に関係なく安心して勉強できるように、返済不要の給付型奨学金を創設すべきです。

①返済不要の奨学金を

大学生の約半数が奨学金をもらっていますが、ほとんどは利子付で、卒業時には3〜4百万円の借金を抱えることとなります。しかも卒業後、低賃金や非正規の企業に就職せざるを得ない場合も多く、返済不能や生活困難となるケースが続出しています。

②「入学祝い金」支給を

入学時には出費がかさみます。市独自の祝い金制度を創設するなど保護者の願いに沿った施策を実現させるべきです。

③就学援助の拡大を

低所得家庭に学校で必要な費用を支援する就学援助金ですが、岡山市では、修学旅行費が全額補助になっていません。さらに、国でさえ認めているPTA会費・クラブ活動費も岡山市は支給していません。入学

虎倉産廃 不可解な行政手続き

昨年12月の御津虎倉産廃処分場建設許可「取消処分」について、市は、「違法性はないが職権で取り消した」と主張しています。廃掃法では、取消は、違法行為があった場合にされる決められており、不可解な話です。

市はまた、業者から変更・再申請があれば、許可手続きの途中から審査を行うとしています。

河田議員は、許可手続きを途中から続行することには行政手続き上疑義があると指摘するとともに、環境アセスは作成から相当の時間が経過しており、このまま再申請に使うのはおかしいなどと追及しました。

市は、行政法の専門家を設置審議会に入れることや、あらためて環境アセスを行うかどうかなどを検討すると答弁しました。



環境局長(左端)と懇談する地元住民のみなさん (7/5)

時の費用も数か月後の支給という問題があります。家庭の生活実態にあった改善が求められるます。

④給食の燃料費は市負担で

学校給食の燃料費は、保護者負担となっています。これは、政令市では岡山市と神戸市だけで、早急な改善が必要です。

⑤校納金同意書は廃止を

給食費などを未納する人がいるとして市は、一昨年から全保護者に同意書を提出させています。しかし昨年度、未収率は改善されていません。無駄で個人の尊厳を傷つける同意書徴収はやめるべきです。